

令和4年度

『県中医療圏退院調整ルール』の
ケアマネジャーへのアンケート
調査結果

ケアマネ 編



アンケート実施期間：R4.8.1～8.19

◇調査対象事業所数

- ・居宅介護支援事業所：130カ所
- ・小規模多機能型居宅介護事業所：49カ所
- ・地域包括支援センター：31カ所

◇回答事業所数(回答率)

- ・居宅介護支援事業所：114カ所(87.7%)
- ・小規模多機能型居宅介護事業所：32カ所(69.6%)
- ・地域包括支援センター：30カ所(96.8%)

アンケート1

「県中医療圏退院調整ルール」の運用 状況に関するアンケート結果

◇ケアマネ回答人数

- 居宅介護支援事業所: 382人
- 小規模多機能型居宅介護事業所: 49人
- 地域包括支援センター: 139人

令和4年7月の退院患者について

要介護の退院患者：185人

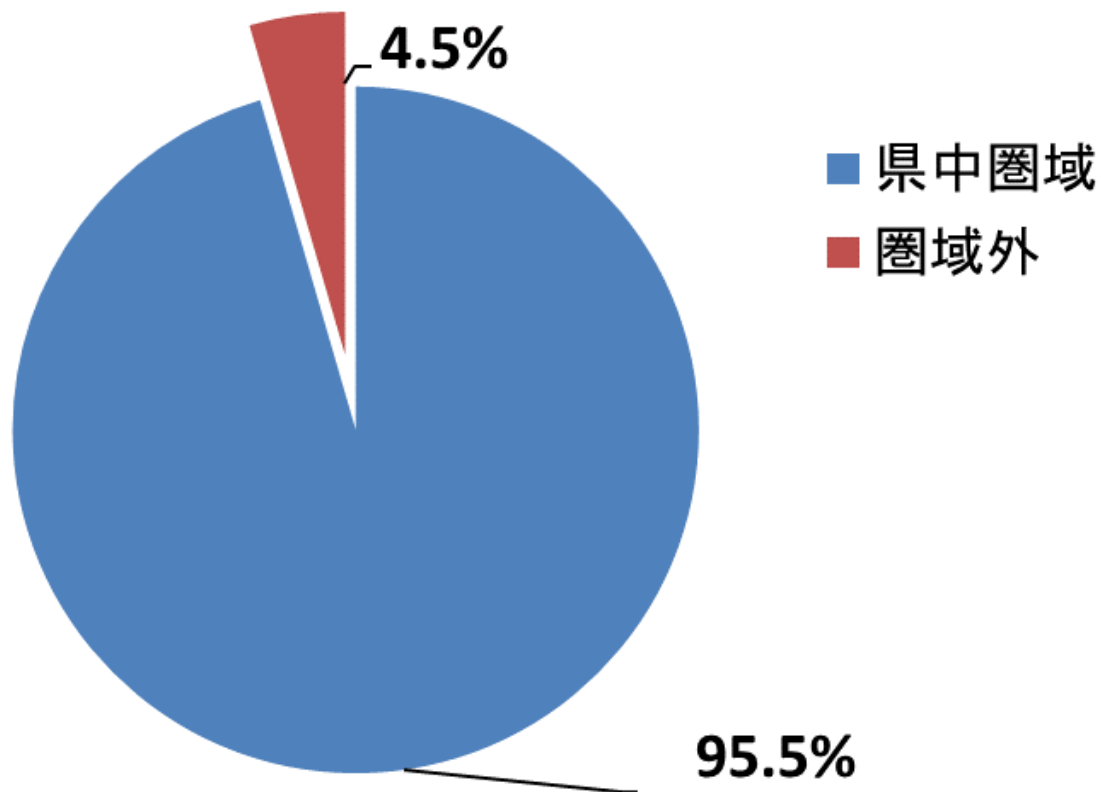
要支援の退院患者：46人

計：231人

【参考】調査月の退院患者数（単位：人）

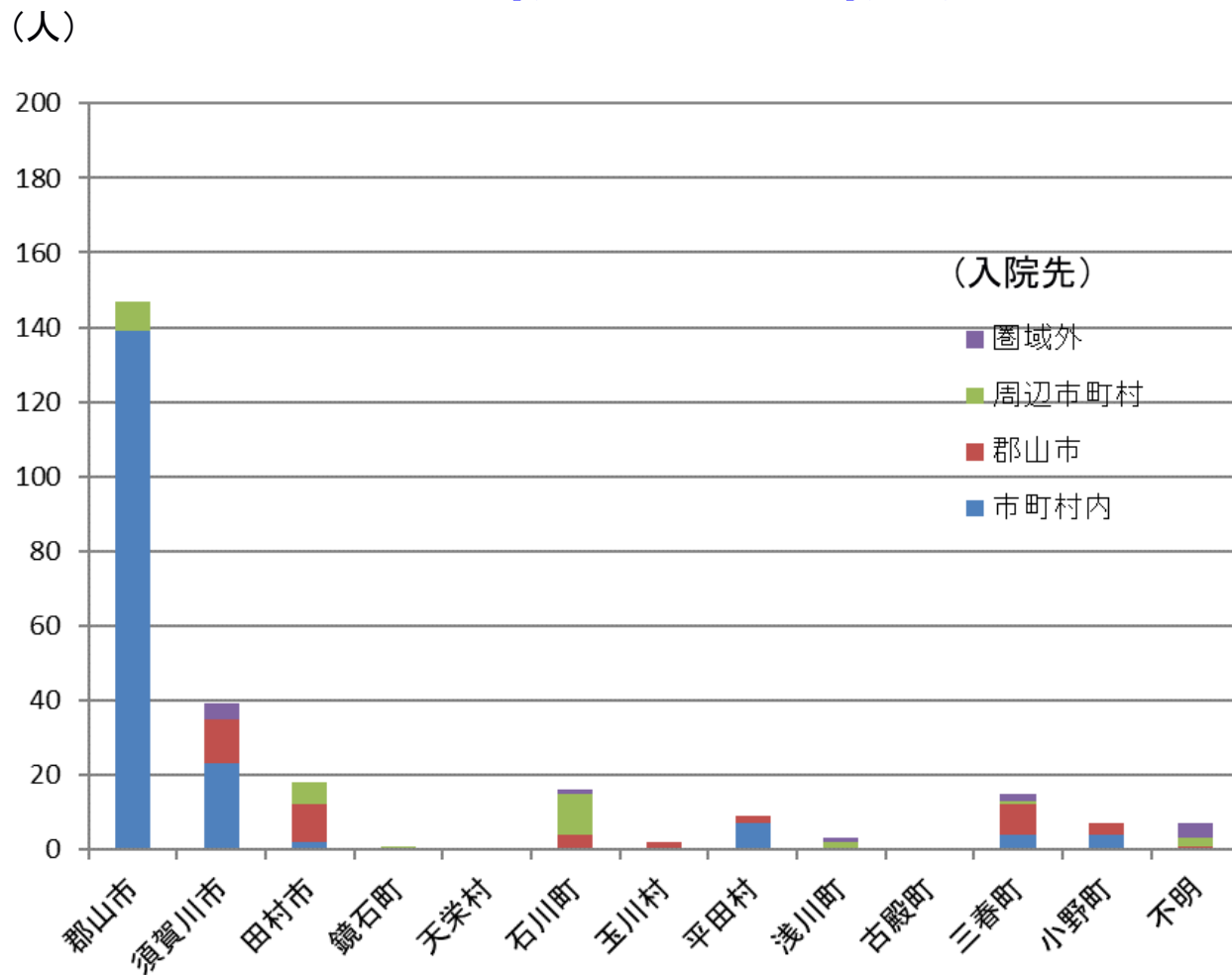
| | 平成27年5月 | 平成28年8月 | 平成29年1月 | 平成29年8月 | 平成30年1月 | 平成30年8月 | 令和元年8月 | 令和2年8月 | 令和3年7月 | 令和4年7月 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 要介護 | 258 | 263 | 246 | 245 | 197 | 220 | 251 | 243 | 236 | 185 |
| 要支援 | 46 | 71 | 48 | 56 | 68 | 68 | 63 | 57 | 59 | 46 |
| 計 | 304 | 334 | 294 | 301 | 265 | 288 | 314 | 300 | 295 | 231 |

図1：令和4年7月の退院患者の入院先



県中地域の入院はほぼ**圏域**で完結！

図2: 令和4年7月の退院患者の 入院元・入院先



(入院元)※事業所所在地

図3：病院からの退院調整の連絡

《平成27年5月～令和4年7月の比較》

平成27年5月

(要介護＋要支援)

令和4年7月

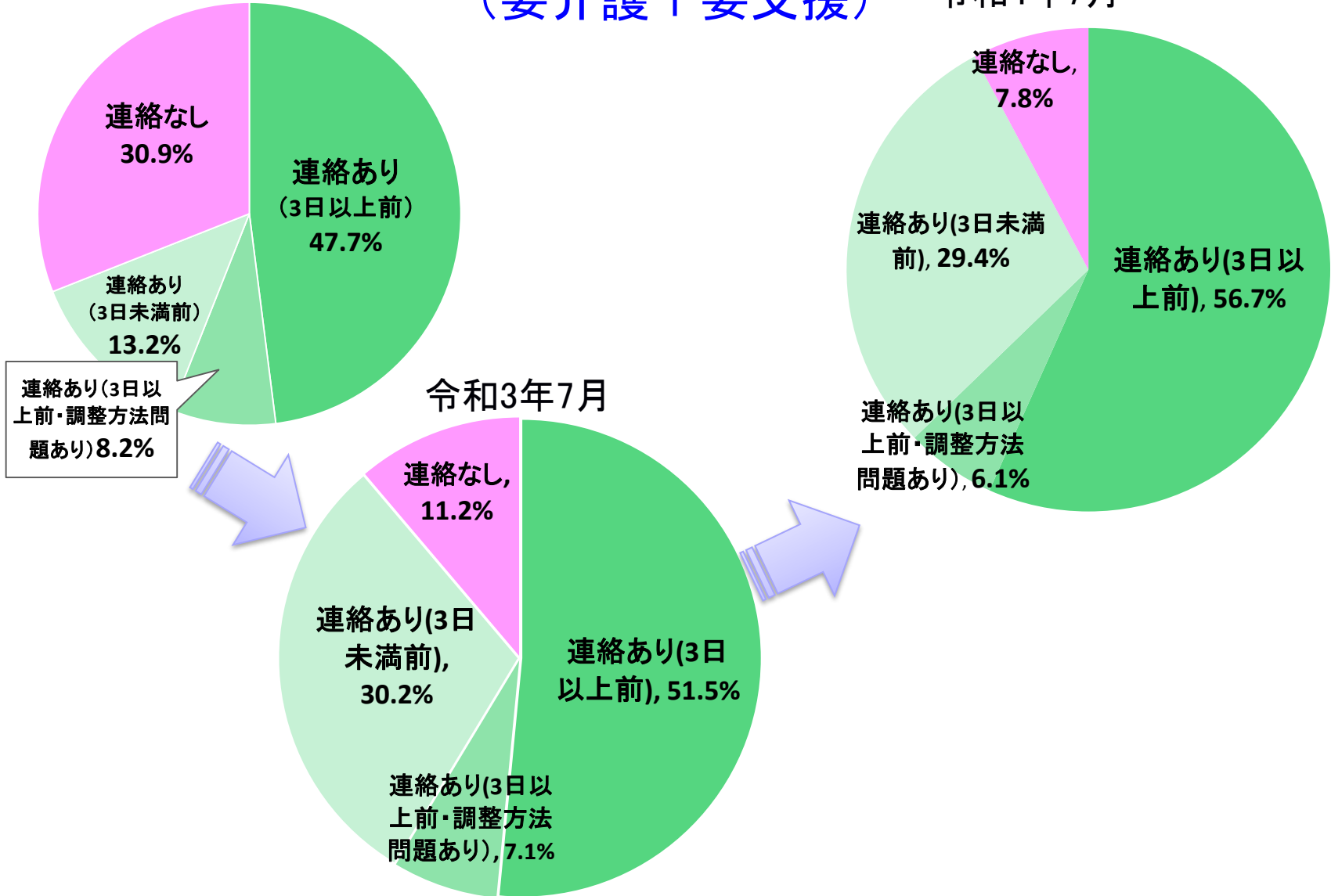


図4：県中圏域の退院調整率

《平成27年5月～令和4年7月の比較》

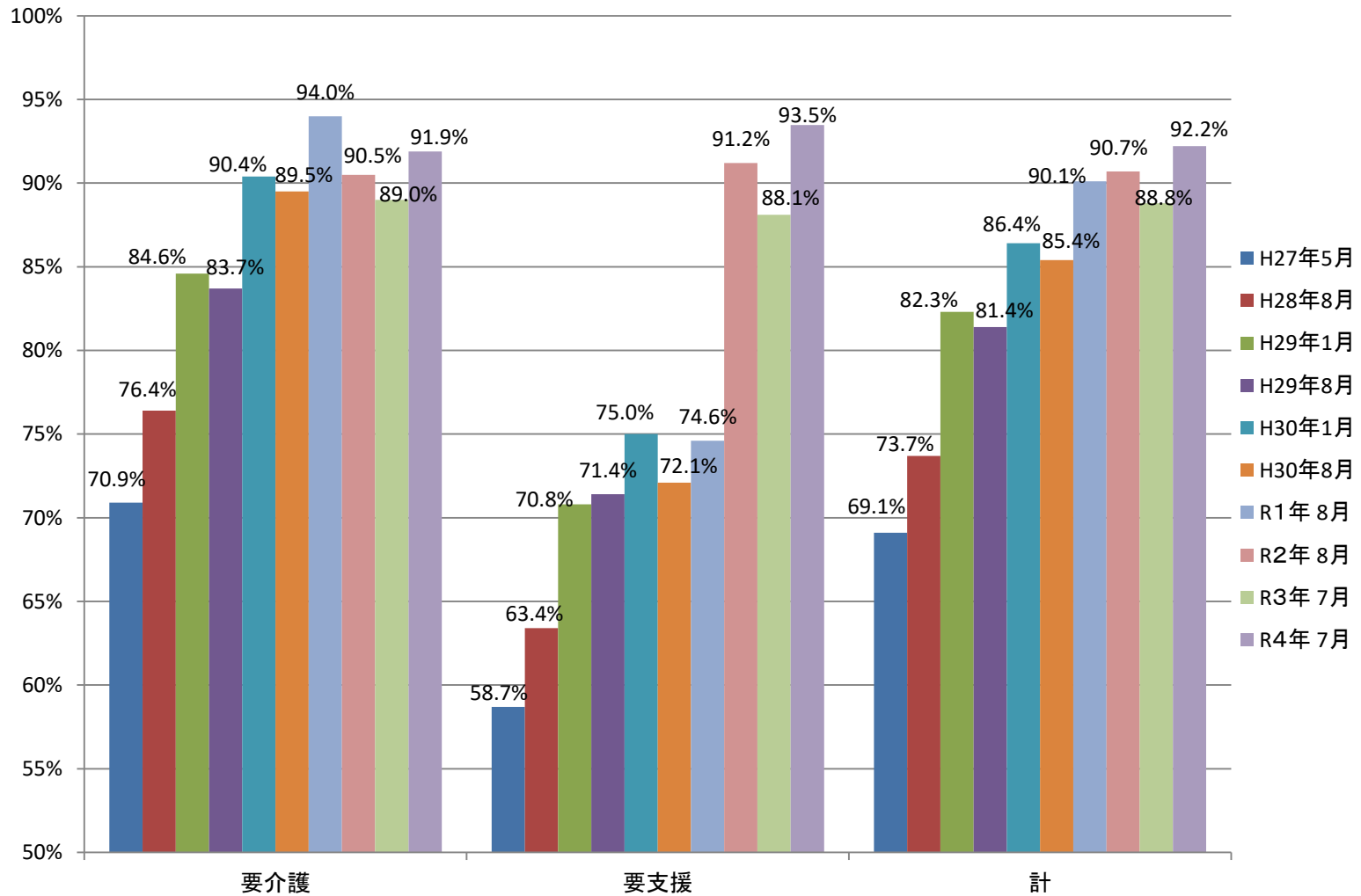


図4-1: 退院調整率の推移

| | 要介護 | 要支援 | 計 | H27年との比較 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| H27年5月 | 70.9% | 58.7% | 69.1% | |
| H28年8月 | 76.4% | 63.4% | 73.7% | +4.6% |
| H29年1月 | 84.6% | 70.8% | 82.3% | +13.2% |
| H29年8月 | 83.7% | 71.4% | 81.4% | +12.3% |
| H30年1月 | 90.4% | 75.0% | 86.4% | +17.3% |
| H30年8月 | 89.5% | 72.1% | 85.4% | +16.3% |
| R1年 8月 | 94.0% | 74.6% | 90.1% | +21.0% |
| R2年 8月 | 90.5% | 91.2% | 90.7% | +21.6% |
| R3年 7月 | 89.0% | 88.1% | 88.8% | +19.7% |
| R4年 7月 | 91.9% | 93.5% | 92.2% | +23.1% |

図4-2: 圏域外の退院調整率

(人)

| | 入院した圏域 | R4. 7月中に退院した患者数 | 調整あり | 退院調整率 | 調整あり (3日以上) | 調整あり (3日未満) |
|------|--------|-----------------|------|-------|----------------|----------------|
| 要介護者 | 県北 | 2 | 2 | 100% | 2 | 0 |
| | 県南 | 9 | 8 | 88.9% | 4 | 4 |
| | 計 | 11 | 10 | 90.9% | 6 | 4 |
| 要支援者 | 県北 | 1 | 1 | 100% | 1 | 0 |
| | 計 | 1 | 1 | 100% | 1 | 0 |
| 合計 | 県北 | 3 | 3 | 100% | 3 | 0 |
| | 県南 | 9 | 8 | 88.9% | 4 | 4 |
| | 計 | 12 | 11 | 91.7% | 7 | 4 |

図5：病院別比較（令和4年7月）

要介護＋要支援

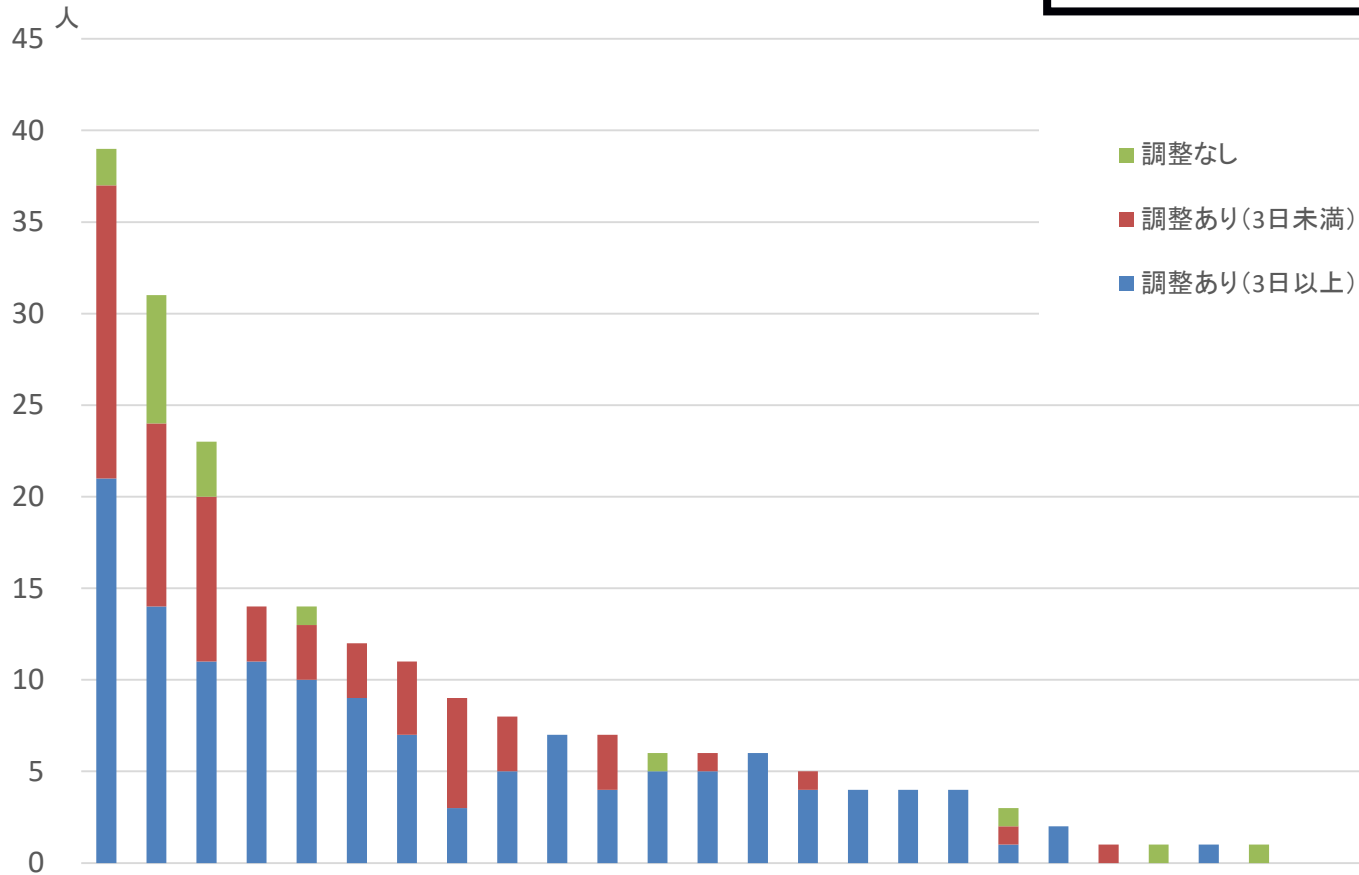


図5-1：病院別比較（令和4年7月）

要介護

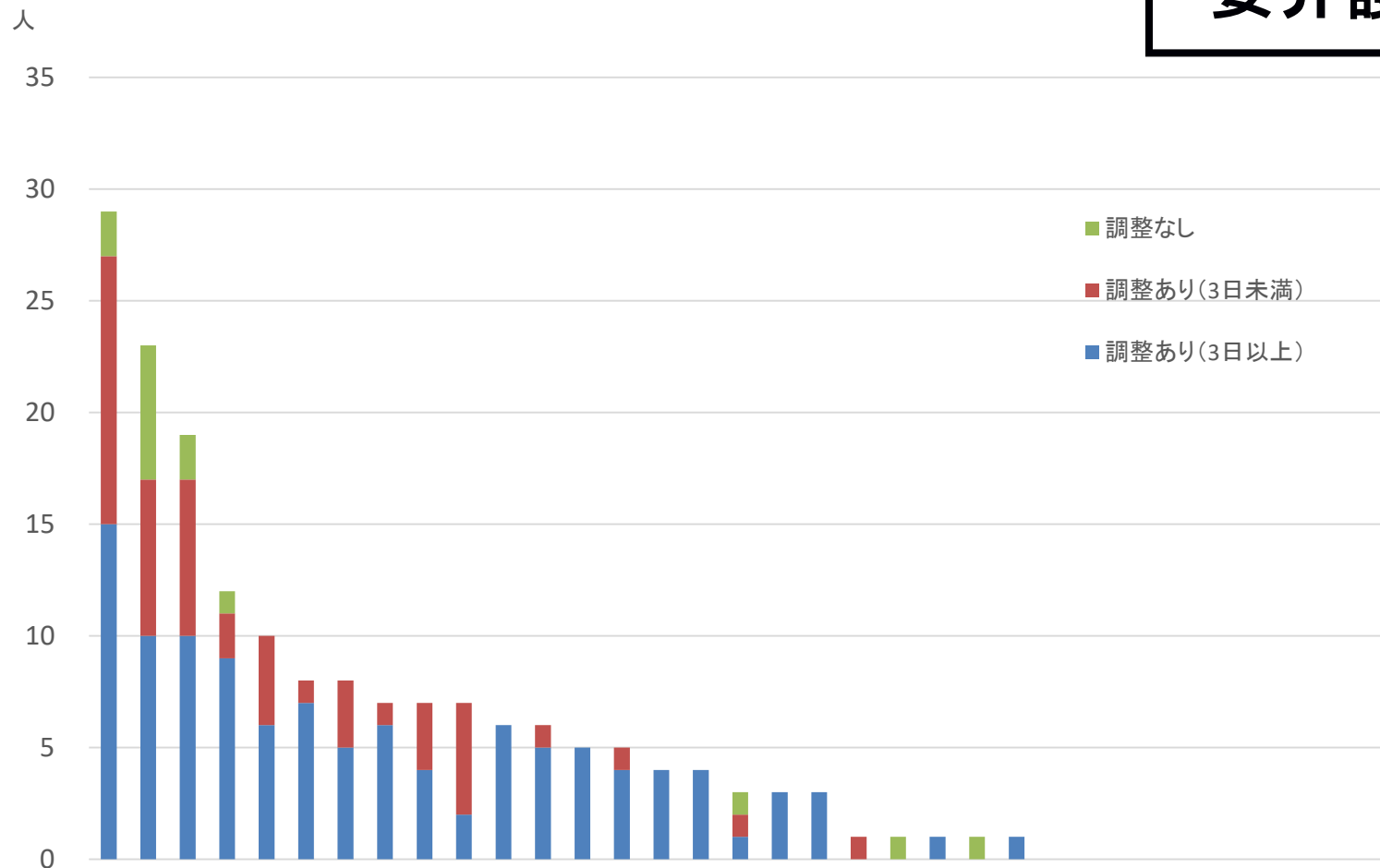


図5-2: 病院別比較(令和4年7月)

人

要支援

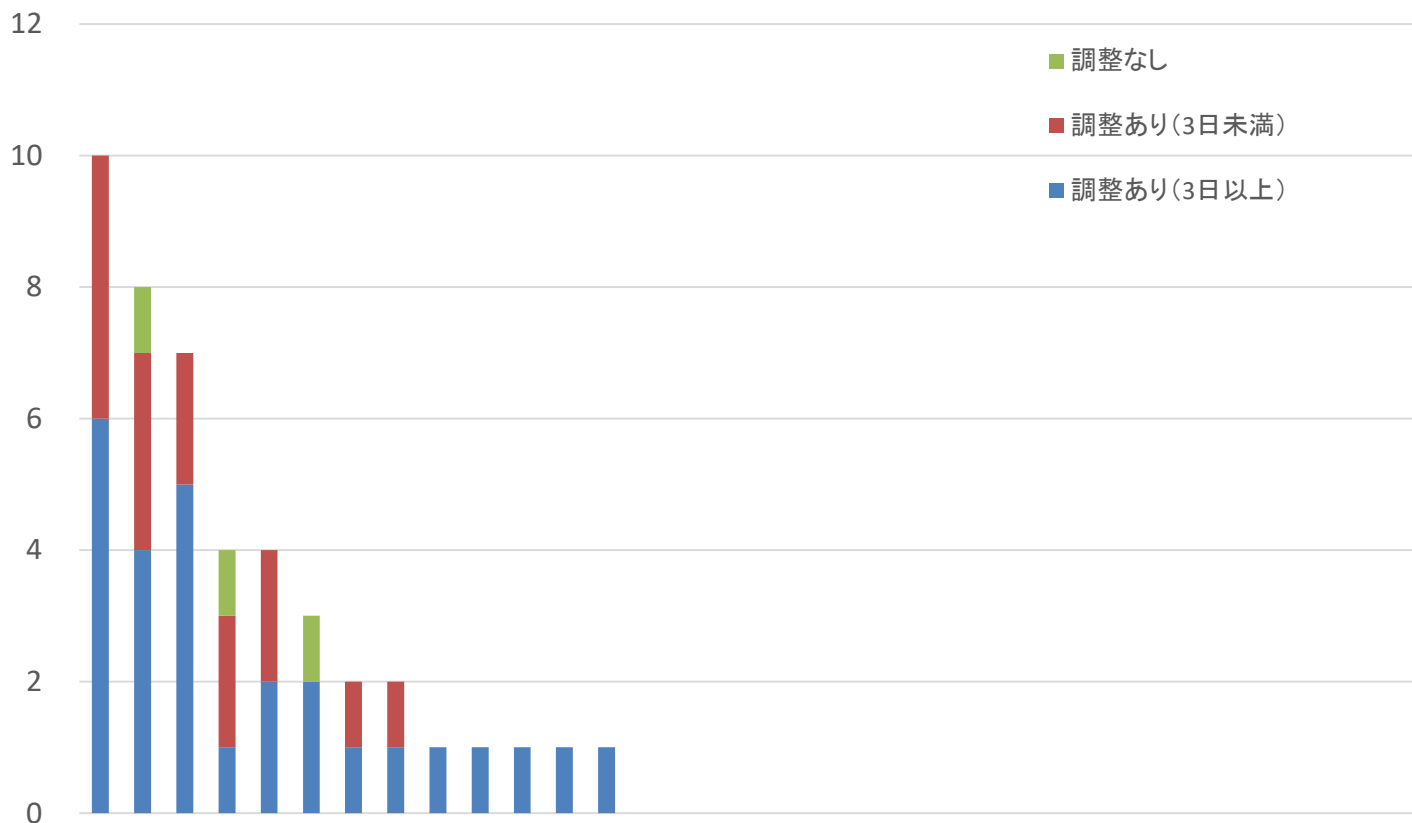


図6: 担当利用者の入院数
(平成27年5月～令和4年7月)

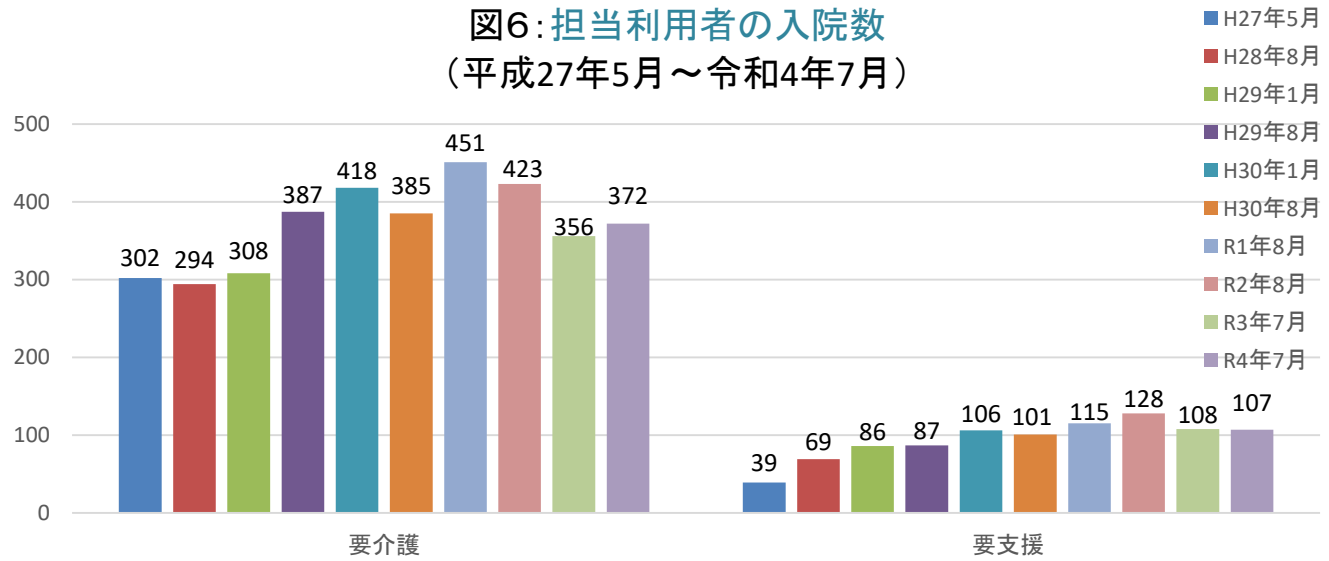
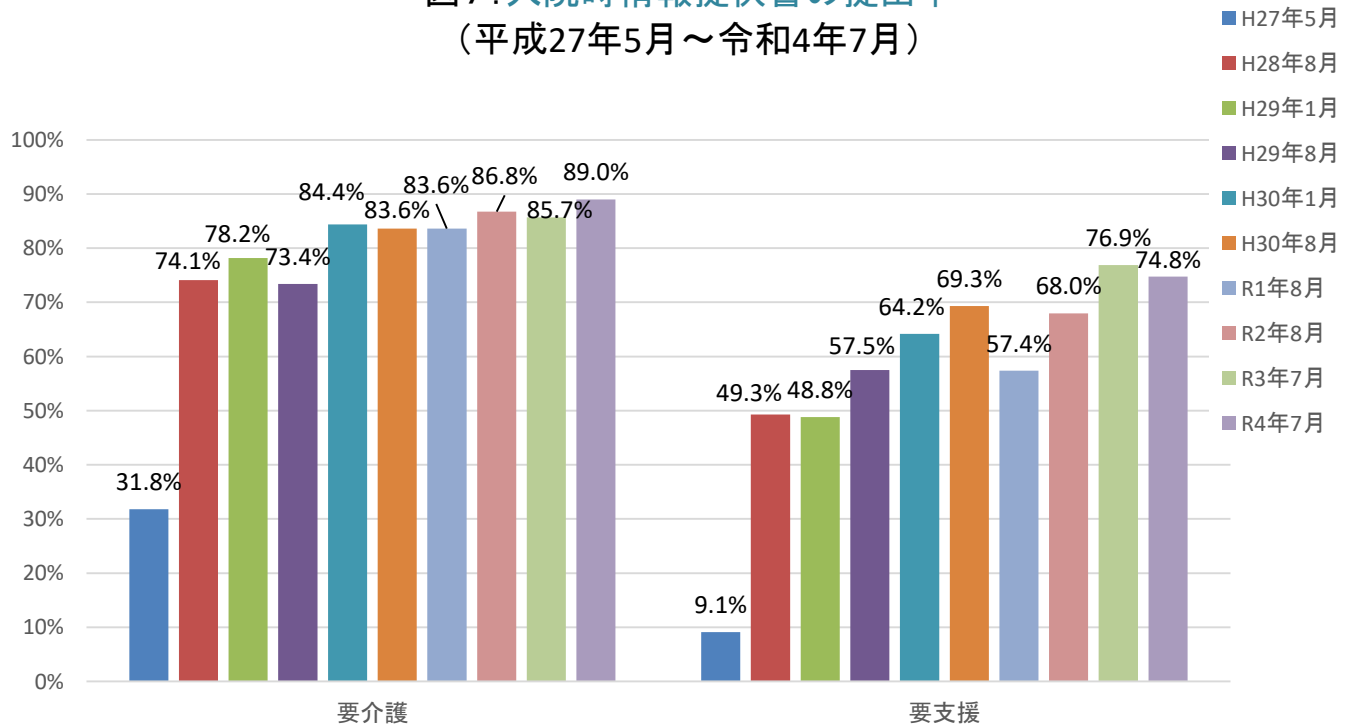


図7: 入院時情報提供書の提出率
(平成27年5月～令和4年7月)



アンケート1のまとめ

◆ 県中圏域の入院は**県中圏域内でほぼ完結** (図1)

◆ 県中圏域の**退院調整率**は、**92.2%**

(要介護**91.9%**、要支援**93.5%**)

前年度調査と比較し、**3.4ポイント改善**、

ルール策定前と比較し、**23.1ポイント改善** (図4)

◆ 県中圏域の**入院時情報提供書の提出率**は、

要介護**85.7%**、要支援**76.9%**

前年度調査と比較し、

要介護は、**3.3ポイント改善**、

要支援は、**2.1ポイント悪化**。

ルール策定前と比較し、

要介護は**57.2ポイント**、

要支援は**65.7ポイント改善** (図7)

- I 運用評価会議(病院等・ケアマネ合同会議)に
おける協議事項
- II その他(感想・要望)

について、ケアマネジャーの皆さんに自由に記載していただきました。

I 運用評価会議における協議事項

《 運用評価会議で協議したい事項 》

- コロナ禍における面談と担当者会議について
- コロナ禍におけるスムーズな連携方法
- よりスムーズな連携方法
- 入院時情報提供シートの内容（病院側として欲しい情報の追加等）

Ⅱ その他(感想・要望)①

1 要望

- 病院のソーシャルワーカーさんから本人の情報を詳しく教えていただき助かっているが、「在宅ではどうか」の目線で情報をいただくとスムーズに在宅へ移行できる。
- 急に退院が決まるとサービス調整が困難で、本人や家族が困ることになるため、早めに退院の連絡をいただきたい。また、医師も含め退院調整について院内で共通理解していただきたい。
- 数は少ないが、病院から連絡がないまま退院や転院をしていることがあるので、必ず連絡して頂けると助かる。
- オンラインによる面談や担当者会議等を積極的に導入して欲しい。

Ⅱ その他(感想・要望)②

- 感染対策を理由に患者本人と面談できず、状態把握や本人の意向確認がしにくい。直接対面が困難な場合は、オンライン等でもいいので本人と面談させて欲しい。特に新規の方の場合は、本人との面談を強く希望する。
- 病院側が必要と考えるサービスや社会資源が、地域の事情で利用困難な場合があることを理解して欲しい。

Ⅱ その他(感想・要望)③

2 感想

- オンライン等の活用について
 - ×細やかな情報（顔色・声の調子など）把握は困難と思われる。
 - ×時間短縮にはなるが、ADLが分かりにくい部分がある。
 - オンライン面談により、患者さんの状況が把握できる。特に新規の依頼の場合に助かっている。
 - オンライン活用により、患者さんのADLやリハビリ状況の確認ができ助かっている。
 - サービス担当者会議をオンライン形式で開催でき助かっている。
- 病院の対応に差は感じるが、多くの病院は丁寧に対応していただき助かっている。
- コロナ禍の中、本人と面談出来ないこともあったが、密に病院と連絡を取り合うことで問題なく支援出来たと思う。お互いの状況を理解しながら協力していきたい。